

新基地建設反対名護共同センターニュース

「子育て日本一的那覇市を」オナガ市長候補



演説会でそろって訴える右から小池書記局長、デニー知事、オナガ那覇市長予定候補、ナガヤマ那覇市議予定候補、赤嶺衆院議員

日本共産党は10日、那覇市新都心で23日投票の那覇市長選・市議補選勝利をめざして演説会を開催しました。小池晃書記局長、玉城デニー知事、オナガ雄治（たけはる）那覇市長予定候補、ナガヤマ盛太郎市議予定候補、赤嶺政賢衆院議員などが訴えました。現場で350人、ユーチューブで50人、計400人が聴き入りました。

オナガ候補は「子育て真っ最中の私が子育て日本一の那覇市をめざします」と決意を表明、デニー知事は「辺野古新基地反対の民意は1ミリもブレていない。県都の那覇市長選でも示そう」、小池書記局長は「聞く力も話す力も持たない岸田政権と統一協会ズブズブの自民党に担がれた相手候補に負けるわけにはいかない」と訴え、大きな拍手と歓声に包まれました。



小池書記局長迎え那覇市長選勝利へ演説会

山川氏及ばず

豊見城市長選

9日投開票された豊見城市長選で2期目をめざした「オール沖縄」の山川仁氏が残念ながら自公推薦候補に及びませんでした。写真は、山川氏（左）をねぎらうデニー知事



北のミサイルには軍事でなく平和外交を！

キャンブ・シユワブゲート前に6日、県内各地の島ぐるみ会議などから約60人が座り込みました。本土から駆け付けた女性は「今日はたくさん集まって元気が出ました」と話しました。地元北部地区労の代表が「北朝鮮が国際法違反のミサイルを何度も飛ばしていることは許せない。しかし、これに日米韓が軍事で対抗しようとしていることも危険だ。沖縄を再び戦場にしないためにも、岸田政権は軍事対軍事ではなく平和外交にこそ力を注ぐべきだ」と訴えました。



平和外交の重要性を訴える北部地区労の代表（右端でマイクを握っている人）

K8護岸を長島付近まで延伸 潮の流れをせき止める



下の写真でわかるように、K8護岸が右端の長島の先端近くまで延伸され手前の辺野古の海と護岸の向こう側の大浦湾がほぼ遮断されてしまいました。手前からその先へ流れる海流がせき止められ、双方の海の生態系に大きな影響を与えることが危惧されています。（写真はいずれも10月8日撮影）

へり基地反対協の海上チームが8日、抗議船2隻とカヌー11艇で監視活動を展開しました。工事現場まで県民を案内した抗議船の船長は「辺野古側のK4護岸（写真上）は、4倍の高さまでテトラポットが積まれています。最終的に2・5倍の10倍まで積み上げる計画です。K8護岸（右の写真）は長島近くまで延伸されてしまいました。これで潮の流れがせき止められ、平島にあった砂浜がほとんど消えるなど辺野古の海も大浦湾も生態系にかなりの悪影響が出ています。大浦湾には軟弱地盤があり、辺野古側だけ埋めても工事は完成しません。税金を無駄遣いし、環境破壊だけが残される新基地建設は絶対に許せません」と怒りを交えて話しました。

